

ターゲットを絞ることは有効であり、その一つ

問 若者の人材確保のために、大学や企業と連携した取組みが必要だと考えますがいかがですか。

今年度行ったアンケート調査によると、8割の事業者が人材不足で悩んでいるとのことでした。介護保険運営協議会の中で、介護人材の確保・定着をテーマに、ハローワークと介護事業所との意見交換会を実施しました。今後は事業所のPRイベントなど、可能なものから取組んでいきます。

問 介護人材確保に向けて半田市が今年度、新たに始めた取組みを伺います。

住み慣れた地域で支えあい、安心して暮らせるまちづくりに向けた介護人材確保

田中高久
(創造みらい半田)



まずは既存の制度を有効に活用出来るように広く周知していきます。

問 オンラインツール導入費用の補助など、DX化の促進に向けた仕組みが必要だと思いますが見解を伺います。

として、若者に訴求力のある取組みは必要です。また、即戦力で活躍できる人も必要という声が事業所からあり、一度現場を離れた方へも働きかけます。また、介護保険運営協議会の委員に大学の講師や介護事業所の職員などが入っており、連携も含め、多くの声を聞きながら進めていきます。

問 放課後ひろばは未就学児と他地区からの利用も可能とすべきと考えますが見解を伺います。

亀崎児童センターの機能移行

半田市にある宿泊施設の年間宿泊者数は約17万人で概ねビジネス目的です。このことから宿泊税の導入については現時点で検討する段階にないと判断していますが、新たな財源確保の観点から宿泊税に限らず他市の動向を注視していきます。

問 宿泊税の導入に向けて調査研究を行う予定はありますか。

将来の税収増加に向けた検討

伊藤正興
(チャレンジはんだ)



皆様に案を示し地域の意見を聞き、運用ルールを決めていきます。

問 放課後ひろばの運用ルールは利用者やボランティアの皆様に協議して決めると良いと思いますが見解を伺います。

保険料は市負担、入退室はカードを使わない方法に変更することで費用が発生しないよう関係機関と調整しています。

問 放課後ひろばの保険料や入退室のカード代等の費用は年間1人あたりどの程度を想定していますか。

今後、学校や関係機関と協議を重ね、地域の皆様や子どもたちの声も聞き、利用者の範囲を決めていきます。

市長就任以来「挑戦」と「変革」を掲げ、多子世帯の2人目からの保育料無償化、乳幼児一時預かり拡充、教育現場での「幸せ教育」の実践、中心市街地活性化では公民連携の新たな仕組み構築などに挑戦しました。

問 市長が3年半の市政運営で挑戦し、変革したと考える点は何ですか。

公約実現につながる事業を推進し、95%が実施済み、または進行中です。残りの5%はコロナ対策でサポートセンターを設置しないと判断したことや、6次産業化に関した大学誘致の課題を引き続き検討していくことによります。

問 市長公約の推進状況を伺います。

市長の市政運営

石川英之
(創造みらい半田)



中心市街地に建設されたココロリン

市民一人ひとりが幸せを実感できることが重要で、課題は持続可能な社会に再構築する好機と捉え、「将来にわたって選ばれるまち」を目指します。引き続き市政を担う覚悟で来年の市長選挙に臨みます。

問 市長が目指す半田のまちの姿は何ですか。

人口減少への対応が最大の課題です。中心市街地活性化はそのための重要政策です。市民との対話を重視し、行政だけではなく市民と共にまちの活性化に組織・課題解決を進めます。

問 市政運営で市長が特に課題と感じた点は何ですか。

「はたらく親を応援するまち」をテーマに持続可能なまちとして未来へつなぐための変革を積み重ねてきました。